観聚和泉だより
観聚学舎　狛江市立狛江第一小学校
１０月号
令和７年10月１日発行

安心・安全で子供たち一人一人が輝く学校を目指して

生活指導主幹　松村　隆寛

早いもので2学期が始まって1カ月が過ぎようとしています。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉の通り、少しずつ朝晩の涼しさを感じられるようになってまいりました。子供たちは日中の暑さに負けず、元気に学校生活を送っています。

さて、一小では、学校経営方針の一つとして、「子供ファーストの教育活動の推進」を掲げています。子供たちが「分かること、できるようになること」に喜びを感じ、様々な活動にすすんで取り組むためには、学校が子供たち一人一人にとって安心で、安全な場であることが不可欠です。そんな安心や安全を守るために一小では様々な取組をしています。

その一つがアンケート等による子供の実態把握です。子供たちの心の様子を把握するための毎学期初めに実施する心のアンケートや、学級への満足度や学習や学校生活への困り感を把握するための WEB QU アンケート、そして自分の行動や友達関係を振り返る学校生活アンケート等、時期をずらして調査を実施しています。また、日常の学校生活の様子からも子供たちの実態把握に努め、子供たちの困り感や悩みを早期発見・早期対応できるよう心掛けています。

また、「学校に行きたいけれど教室に居づらい」といった悩みを抱えている子供たちのために、校内別室指導教室「ふれあいルーム」を設置しています。つらいと感じたときの逃げ場が確保されていることは、心の健康を保つ上でとても大切なことです。一小に通う子供なら誰でも利用することができるので、困ったり悩んだりした際は、すすんで利用してもらえたらと思います。

学校は子供たちのためにあるものです。だからこそ常に「子供たちにとって何がより良いか」を第一に考え、学校が誰にとっても安心・安全な場であることができるよう今後も努めてまいります。

10月18日には、子供たちが楽しみにしている運動会もあります。どの学年の子供たちも練習の成果を存分に出し切り、一人一人が輝きを放つことができる行事となるよう、子供たちとともに教職員も一丸となって頑張ります。今後とも本校の教育活動に御理解・御協力くださいますよう、どうぞよろしくお願いします。

10月の生活指導
すすんで仕事をしよう！

学校という社会の中で、子供たちは発達段階に応じて、様々な仕事を行っています。どんなに小さな仕事でも、責任をもって続けることには大きな意義があります。そしてそれは、友達や社会の役に立ち、人に喜んでもらうことにつながります。子供たちが社会に貢献する喜びを少しでも感じ、達成感を得られるよう、一人一人の頑張りや努力を見守り、認め、感謝を伝えていきます。10月は自分の役割に責任をもって取り組む力を一層重視し、指導・助言を行ってまいります。